

Title	Communication-Design 8 奥付・裏表紙
Author(s)	
Citation	Communication-Design. 2013, 8
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/24615
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

Communication-Design 8

異なる分野・文化・フィールド——人と人のつながりをデザインする

企画 大阪大学コミュニケーションデザイン・センター

編集・制作 三成賢次
本間直樹
内野 花
山内保典

表紙デザイン 清水良介

2013年3月29日 発行

発行 大阪大学コミュニケーションデザイン・センター (CSCD)
〒560-0043 大阪府豊中市待兼山町1-16
Tel. 06-6850-6111 Fax. 06-4865-0121
<http://www.cscd.osaka-u.ac.jp/>

印刷所 能登印刷株式会社

© Center for the Study of Communication-Design and Authors. All Rights Reserved.

2013 Printed in Japan

本書における全ての著作権は、大阪大学コミュニケーションデザイン・センターとその著者に帰属します。無断転載を禁ず。

㊞〈日本複写権センター委託出版物〉

本書を無断で複写複製（コピー）することは、著作権法上の例外を除き、禁じられています。

本書をコピーされる場合は、事前に日本複写権センター（JRRC）の許諾を受けてください。

JRRC [http://www.jrrc.or.jp eメール：info@jrrc.or.jp 電話：03-3401-2382]

ISSN 1881-8234

この論文は、現代社会におけるデジタル技術の発展と人間の関係性を探るものである。特に、人工知能の進化がもたらす倫理的課題や、データプライバシーの重要性について考察している。また、デジタル技術がもたらす社会的不平等や、デジタルデバイドの問題についても触れられている。論文は、技術の進歩を歓迎しつつも、人間の尊厳や権利を守るための法的・倫理的枠組みの構築を強く訴求している。特に、透明性と説明責任の確保が、AIシステムの信頼性を高める鍵であると主張している。また、データは個人の自由と権利を守るための重要なツールであると同時に、監視や差別の手段にもなり得るという両刃の剣としての性質を指摘している。論文は、技術開発者と社会との対話の重要性を強調し、持続可能な未来を築くための道筋を示している。

本研究は、持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けた取り組みを評価するものである。特に、環境保護と社会福祉の両方を促進する統合的なアプローチの重要性を強調している。論文は、持続可能な消費と生産の促進、資源の効率的な利用、そして社会的不平等の解消に焦点を当てている。また、デジタル技術を活用した持続可能な開発の推進についても触れられている。論文は、持続可能な開発を実現するための政策的提言や、企業や市民社会の役割についても述べている。特に、透明性と説明責任の確保が、持続可能な開発の成功に不可欠であると主張している。また、持続可能な開発は単に経済的な成長だけでなく、社会正義と公平性の確保も必要であると指摘している。論文は、持続可能な未来を築くための道筋を示し、持続可能な開発の実現に向けた取り組みを促している。

この論文は、現代社会におけるデジタル技術の発展と人間の関係性を探るものである。特に、人工知能の進化がもたらす倫理的課題や、データプライバシーの重要性について考察している。また、デジタル技術がもたらす社会的不平等や、デジタルデバイドの問題についても触れられている。論文は、技術の進歩を歓迎しつつも、人間の尊厳や権利を守るための法的・倫理的枠組みの構築を強く訴求している。特に、透明性と説明責任の確保が、AIシステムの信頼性を高める鍵であると主張している。また、データは個人の自由と権利を守るための重要なツールであると同時に、監視や差別の手段にもなり得るという両刃の剣としての性質を指摘している。論文は、技術開発者と社会との対話の重要性を強調し、持続可能な未来を築くための道筋を示している。

本研究は、持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けた取り組みを評価するものである。特に、環境保護と社会福祉の両方を促進する統合的なアプローチの重要性を強調している。論文は、持続可能な消費と生産の促進、資源の効率的な利用、そして社会的不平等の解消に焦点を当てている。また、デジタル技術を活用した持続可能な開発の推進についても触れられている。論文は、持続可能な開発を実現するための政策的提言や、企業や市民社会の役割についても述べている。特に、透明性と説明責任の確保が、持続可能な開発の成功に不可欠であると主張している。また、持続可能な開発は単に経済的な成長だけでなく、社会正義と公平性の確保も必要であると指摘している。論文は、持続可能な未来を築くための道筋を示し、持続可能な開発の実現に向けた取り組みを促している。

この論文は、現代社会におけるデジタル技術の発展と人間の関係性を探るものである。特に、人工知能の進化がもたらす倫理的課題や、データプライバシーの重要性について考察している。また、デジタル技術がもたらす社会的不平等や、デジタルデバイドの問題についても触れられている。論文は、技術の進歩を歓迎しつつも、人間の尊厳や権利を守るための法的・倫理的枠組みの構築を強く訴求している。特に、透明性と説明責任の確保が、AIシステムの信頼性を高める鍵であると主張している。また、データは個人の自由と権利を守るための重要なツールであると同時に、監視や差別の手段にもなり得るという両刃の剣としての性質を指摘している。論文は、技術開発者と社会との対話の重要性を強調し、持続可能な未来を築くための道筋を示している。

本研究は、持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けた取り組みを評価するものである。特に、環境保護と社会福祉の両方を促進する統合的なアプローチの重要性を強調している。論文は、持続可能な消費と生産の促進、資源の効率的な利用、そして社会的不平等の解消に焦点を当てている。また、デジタル技術を活用した持続可能な開発の推進についても触れられている。論文は、持続可能な開発を実現するための政策的提言や、企業や市民社会の役割についても述べている。特に、透明性と説明責任の確保が、持続可能な開発の成功に不可欠であると主張している。また、持続可能な開発は単に経済的な成長だけでなく、社会正義と公平性の確保も必要であると指摘している。論文は、持続可能な未来を築くための道筋を示し、持続可能な開発の実現に向けた取り組みを促している。

この論文は、現代社会におけるデジタル技術の発展と人間の関係性を探るものである。特に、人工知能の進化がもたらす倫理的課題や、データプライバシーの重要性について考察している。また、デジタル技術がもたらす社会的不平等や、デジタルデバイドの問題についても触れられている。論文は、技術の進歩を歓迎しつつも、人間の尊厳や権利を守るための法的・倫理的枠組みの構築を強く訴求している。特に、透明性と説明責任の確保が、AIシステムの信頼性を高める鍵であると主張している。また、データは個人の自由と権利を守るための重要なツールであると同時に、監視や差別の手段にもなり得るという両刃の剣としての性質を指摘している。論文は、技術開発者と社会との対話の重要性を強調し、持続可能な未来を築くための道筋を示している。